

広告

企画・制作／
読売新聞社広告局

医師が教える「美・健康ナビ」



木下 孝昭先生

医療法人社団 孝昭クリニック院長
医学博士

医師による美と健康に役立つア
ドバイス「美・健康ナビ」を毎月
1回、シリーズで連載しています。

第16回

眼瞼下垂症^{がんけん}

「ゆとりある治療スケジュールを」

「眼瞼下垂」とは、まぶたを持ち
上げる筋肉（眼瞼挙筋）が弱まり、
十分に目が開かなくなる状態のこと
です。先天性の場合もありますが、
多くは加齢で起こります。

眼瞼下垂症になると、額の筋肉
でまぶたを上げるようになり、額に
深いしわが入ることがあります。あ
ごをあげて上から物を見がちにな
り、姿勢にも影響します。さらに
頭痛や肩こり、自律神経失調症な
どを引き起こします。

治療は、上まぶたを切開して眼
瞼挙筋を固定する手術が多く採用
されます。術後は腫れがあり、回
復には時間が必要です。早めに症
状や予算、スケジュールなどを専門
医に相談し、ゆとりをもって治療に
取り組んでください。また、健康保
険の適用外の自由診療では、まぶた
を切らない方法も登場しています。

まぶたのたるみは加齢によって誰
にでも起こり得ますが、コンタクト
レンズや二重まぶたを作るための接
着剤の使用などが眼瞼下垂症を招
く場合もあります。眼鏡を使う、
目をこすらないなど、まぶたに負担
をかけないことも大切です。

協力／医療法人社団 孝昭クリニック^{こうしょう}

電話：0798-22-4466 〒662-0051 兵庫県西宮市羽衣町5-13 ワジュール夙川(しゅくがわ)ビル1・2・3F